

未来にはばたく

高め合い、つよく！

学び合い、かしこく！

認め合い、あたたかく！

令和7年2月3日
おおたかの森小学校
学校便り 2月号



流山市おおたかの森西2丁目13番地の1
TEL 04-7159-7001

<https://schit.net/nagareyama/ootakasyou/>

立春 春の訪れ

校長 角 龍幸

「ずいぶんこの時間でも明るくなったね。」夕方、職員室からそんな会話が聞こえてきます。春が一日一日と近づいているようです。2月3日は立春。暦の上ではもう春です。立春の前日が節分ですから、今年は「2月2日」が節分の日となりました。日曜日には豆まきをしたり、恵方巻きを食べたりしたご家庭も多かったのではないかでしょうか。学校では本日、節分にちなんで福豆が給食メニューに入っています。豆（ま・め）は「魔（ま）を滅（めつ）する」そうです。昨日今日と、年の数、、、とはいきませんが私もおいしくいただきました。



さて、節分＝「2月3日」のイメージはありませんか？実は令和3年に節分が2月2日になりました。その時は実に明治30年以来、124年ぶりということだったので、私は、「次はまた100年先か、もう一生2月2日の節分は無いな。」そんな風に思ってしまったのです。今年また「2月2日節分」が来てびっくりしてしまいました。実はその時も調べたのですが、太陽が地球の周りを一周する時間が「一年」なのですが、本当は一周するのに「約365.2522日」かかっているそうで、どうもこの「0.2522日＝約6時間弱」が鍵となるようです。次回は、令和11年の節分が2月2日になるということなので、また2月2日節分に会えそうです。

「0.2522日」と節分の関係？こういう数字を見ると無性に電卓をたたきたくなります。身近な生活の中で出てきた疑問を追求するのは楽しいものです。きっと子供たちにとってもそれは同様で、様々な教科の中で身近な疑問から学習を進めたり、学習したことをもとに身近な秘密に迫る授業展開を進めたりすることが学習意欲の向上につながるのだと思います。

暦の上では春とはいえ、まだまだ寒い毎日です。それでも子供たちは寒さに負けず、元気に学校生活を送っています。今年も校庭では短縄跳びを楽しむ児童をたくさん見かけます。近づいていくととってもいい音が聞こえますよ！

